

Android用 Temp Logger 取扱説明書

- 「Temp Logger」は、スマホ用の無料アプリケーションです。
- TempU06シリーズのロガーをスマホとBluetoothで接続し、ロガーの設定、データを送信・記録することができます。
- Bluetooth Low Energy (BLE)を通して、スマホで温度、湿度を監視することができます。

1. ブルートゥースをオンにする

ロガーの開始ボタン(START/VIEW/MARK)と停止ボタン(STOP)を3秒以上同時に押し続けると、赤LEDが点滅し、*****マークがLCD画面に表示されます。

2. アプリをダウンロードする

スマホでQRコード(Fig.1)を読み取り、アプリをダウンロードする。

Fig.1



3. デバイス登録

3.1 アプリを開き、ロガーの正面のシール上に記載されているデバイスIDを「Please enter the device ID」欄に入力するか、スマホのバーコード読み取りアイコン(Fig.2)をクリックして、読み取り画面に移動し、バーコードをスキャンしてデバイスIDを読み取って、ホーム画面で登録します。

Fig.2



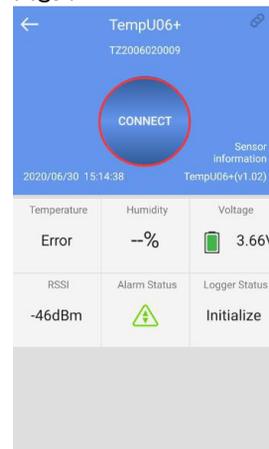
3.2 左上のメニューアイコン(≡)をクリックし、メニューの「Device」をクリックすると、デバイスIDが「Devices」画面(Fig.3)に表示され、ロガーが正常に登録されたことを示します。

登録したロガーの領域内をクリックすると、「CONNECT」画面(Fig.4)が現れ、「CONNECT」ボタンをクリックすると、ロガーのデータの読み取りが始まります。

Fig.3



Fig.4



4. 「Devices Regulation」画面

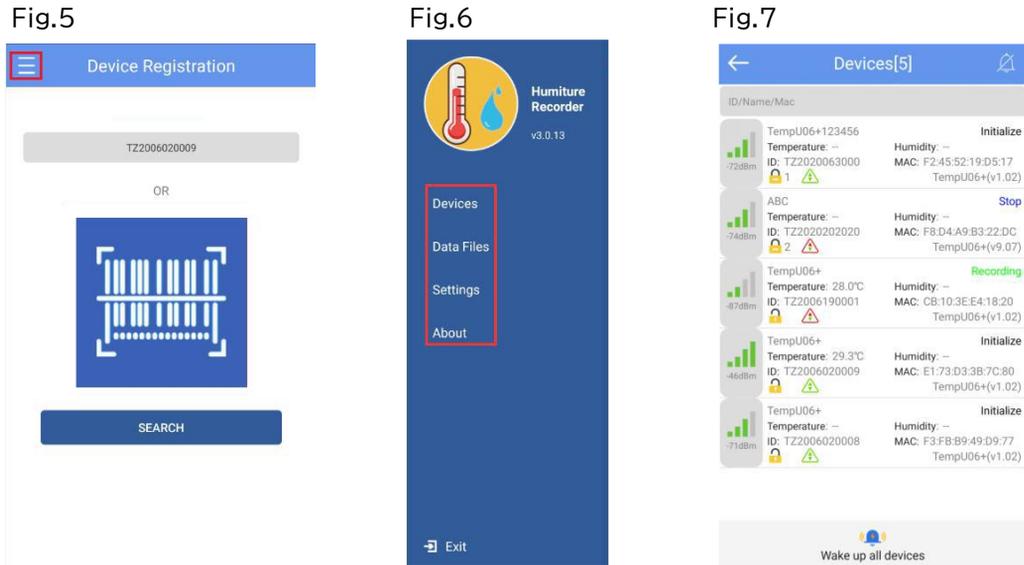
4.1 登録済みのロガーを接続する

ロガーの開始(START/VIEW/MARK)ボタンと停止(STOP)ボタンを3秒間長押しして、ブルートゥースを起動させます。アプリを開き、「Devices Regulation」画面(Fig.5)の「SEARCH」をクリックし、接続に成功すると登録済みのロガーの「Device」画面(Fig.7)が開きます。

「Devices Regulation」画面(Fig.5)左上のメニューアイコン(≡、赤枠)をクリックすると、メインメニュー(Fig.6、赤枠)が展開されます。

メニューの「Device」をクリックしても、「Device」画面(Fig.7)を開くことができます。

「Devices」画面(右下図)の機能は以下の通りです。



4.2 デバイス情報の表示する

登録したすべてのデバイスの名前、状態、温度データ(Temperature)、湿度データ(Humidity)、デバイスID、MAC、アイコンを表示します。

アイコンの説明

ロック解除: レベル1アクセスキー: レベル2アクセスキー:

高温アラーム: 低温アラーム: 高温・低温アラーム: ロガーをPCに接続中:

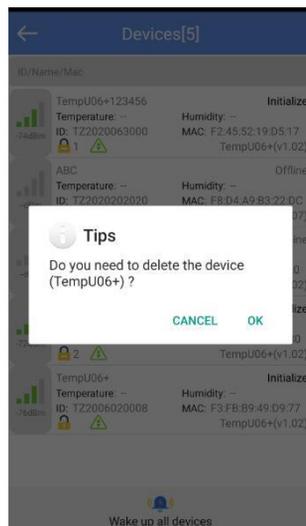
注意:すでにPCに接続されている場合、ブルートゥースで接続することはできません。

4.3 デバイスを削除する

長押しでデバイスを削除できます。

確認画面(Fig.8)の「OK」をクリックして確定します。

Fig.8



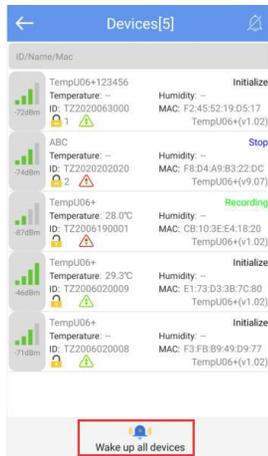
4.4 フライトモードでの起動

A: 1台のデバイスを起動するには、このデバイスの領域をクリックします。

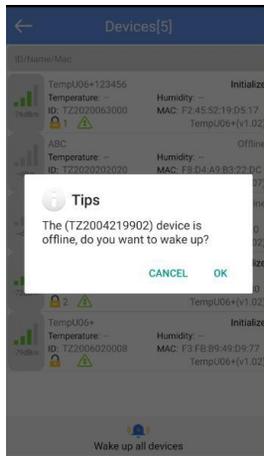
B: 下方の「Wake up all devices(すべてのデバイスを起動)」(Fig.9赤枠)をクリックすると、すべてのデバイスが起動します。

ポップアップする確認画面(Fig.10)で「OK」をクリックして確定します。

Fig.9



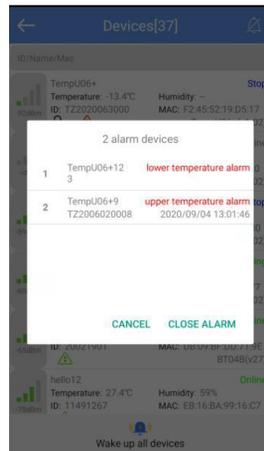
Fug.10



4.5 アラーム

予め設定された上限値または下限値を超えると、赤字で内容を伝えるアラーム情報がポップアップ表示され(Fig.11)、音声アラームが出ます。「CLOSE ALARM」をクリックするとアラーム情報は消え、音声アラームが停止します。

Fig.11

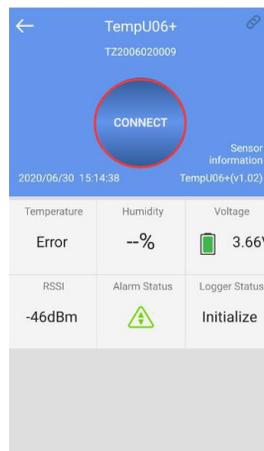


5. ロガーとの接続

Bluetooth接続中に、デバイス画面の、デバイス領域をクリックすると、ロガーのIDを確認のTips画面がポップアップし、「OK」をクリックすると接続画面(Fig.12)が現れます。

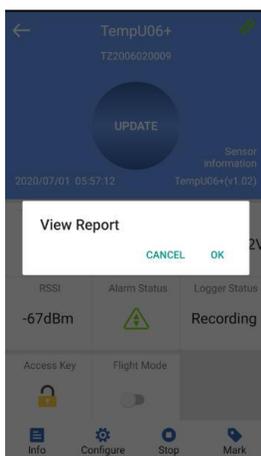
デバイスの温度(Temperature)、湿度(Humidity)、電圧(Voltage)、RSSI、アラーム状態(Alarm Status)、ロガーの状態(Logger Status)が表示されます。

Fig.12



「CONNECT」をクリックすると、データがダウンロードされ、現在のデータ内容の読み取りが成功すると、レポートを表示するかどうかを尋ねる「View Report」がポップアップし(Fig.13)、「OK」をクリックするとレポート表示画面が開きます。

Fig.13



または、「View Report」がポップアップせず、ロガーの「アクセスキー(Access Key)」ボタンと「フライトモード(Flight Mode)」ボタンと下部に「情報(Info)」、「設定(Configure)」、「Start(開始)」、「記録ポイントマーク(Mark)」の4つのボタンが表示されます。(Fig.14)

注意:ロガーは接続のプロセスでデータを更新しません。

デフォルトで、ロガーは1分後に切断され、下部の4つのボタンは灰色になり、再度クリックすることはできません。

Fig.14



5.1 ロガーのアクセスキー

「アクセスキー(Access Key)」をクリックすると、アクセスキー設定画面が開きます。

ロガーへのアクセスキーのON/OFF、プロテクションレベル(Protection Level)の設定ができます。

アクセスキーOFF=プロテクションレベル(Protection Level)Normal=1

アクセスキーON=プロテクションレベル(Protection Level)High=2

5.2 フライトモード

「フライトモード(Flight Mode)」をクリックすると、確認画面がポップアップし、「OK」で変更を確定します。ボタン上のON/OFFスイッチで状態が表示されます。

ONにするとロガーはブルートゥース接続を停止するフライトモードに入ります。

フライトモードを終了するには、このボタンで設定する、デバイス画面でロガー起動させる、または、ロガーの「START/VIEW/MARK」ボタンと「STOP」ボタンを同時に3秒間押ししてください。

5.3 詳細と電子メール機能

「情報(Info)」をクリックすると、詳細表示画面(Detail)が開きます。

グラフ、最大/最小/平均温度、湿度、アラーム設定、開始遅延、記録間隔、開始/停止方法、説明などの情報のほか、データ書き出し、印刷の設定ボタン、Chart(グラフ)、List(データ一覧表)、Mark(マーク一覧表)を開くアイコンが表示されます。(Fig.15)

Fig.16の「EXPORT」をクリックすると、PDFとCSVのレポートが作成され、指定したメールアドレスにEメールで送信されます。

注意:電子メールを送信するためには、スマホにメールアプリとログインアカウントが必要です。

Fig.15

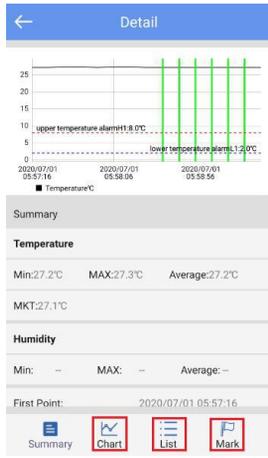


Fig.16

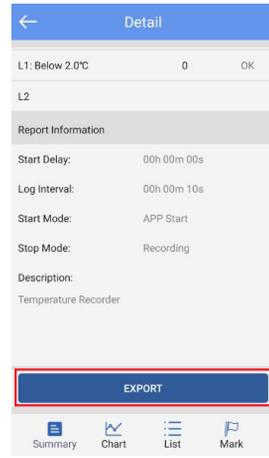
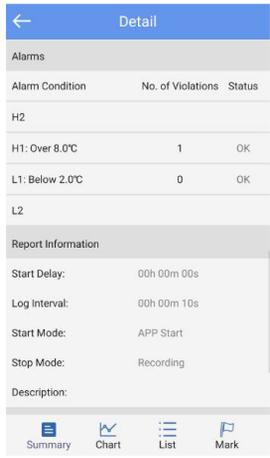


Fig.17



Fig.18



チャート(Chart)ボタンをクリックすると、グラフ画面が開きます。(Fig.19)

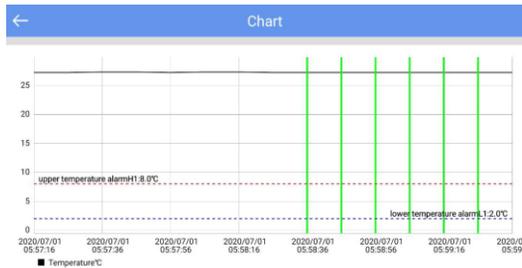


Fig.19

リスト(List)ボタンをクリックすると、データの一覧表の画面(Fig.20)、マーク(Mark)ボタンをクリックすると、マークしたポイントの日時の一覧表の画面(Fig.21)が開きます。

Fig.20

The 'List' screen displays a table of temperature and humidity data. The table has columns for NO., DateTime, Temperature, and Humidity.

NO.	DateTime	Temperature	Humidity
1	2020/07/01 05:57:16	27.2°C	--
2	2020/07/01 05:57:26	27.2°C	--
3	2020/07/01 05:57:36	27.3°C	--
4	2020/07/01 05:57:46	27.3°C	--
5	2020/07/01 05:57:56	27.2°C	--
6	2020/07/01 05:58:06	27.3°C	--
7	2020/07/01 05:58:16	27.3°C	--
8	2020/07/01 05:58:26	27.2°C	--
9	2020/07/01 05:58:36	27.2°C	--
10	2020/07/01 05:58:46	27.2°C	--
11	2020/07/01 05:58:56	27.2°C	--
12	2020/07/01 05:59:06	27.2°C	--
13	2020/07/01 05:59:16	27.2°C	--
14	2020/07/01 05:59:26	27.2°C	--
15	2020/07/01 05:59:36	27.2°C	--

Fig.21

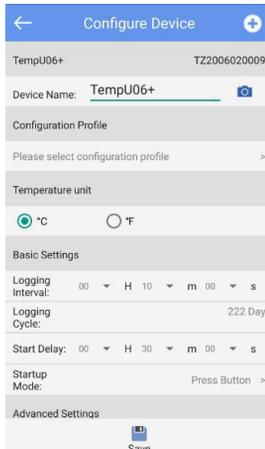
The 'Mark' screen displays a table of marked points. The table has columns for NO., Type, Description, and DateTime.

NO.	Type	Description	DateTime
1	Mark	Mark	2020/07/01 05:58:36
2	Mark	Mark	2020/07/01 05:58:46
3	Mark	Mark	2020/07/01 05:58:56
4	Mark	Mark	2020/07/01 05:59:06
5	Mark	Mark	2020/07/01 05:59:16
6	Mark	Mark	2020/07/01 05:59:26

6. デバイスの設定(Configure Device)

接続後、ロガーが記録を開始しない場合、「設定(Configure)」ボタンをクリックして、「デバイスの設定(Configure Device)」画面(Fig.22)を開きます。

Fig.22



6.1 デバイス名(Device Name):ロガーの名称は任意に変更できます。(15バイトまで)

6.2. 設定ファイル(Configuration Profile):画面右上の ⊕ボタンをクリックすると、設定した情報を保存することができます。

保存後は、「Please select configuration profile >」をクリックし、対応する名前の設定を選択することができます。

6.3 温度単位(Temperature unit): °C、°Fをラジオボタンで選択します。

6.4 基本設定(Basic Setting)

記録間隔(Logging Interval):データの記録間隔(10秒~18時間、デフォルトは10分)。

記録サイクル(Logging Cycle):記録間隔から計算される連続最長記録時間。

開始遅延(Start Delay):記録の遅延開始時間(0秒~4.23時間、デフォルトは30分)。

起動方法(Startup Mode):ロガーの開始ボタンを押して開始する方法と、設定した開始時間にタイマーで開始する方法の選択ができます(デフォルトはボタンを押して開始)。

6.5 高度な設定(Advanced Setting)(Fig.23)

停止ボタンを無効にする(Disable Stop Button):ロガーの停止ボタンの機能の有効/無効を選択できます。(デフォルトは無効)

リピートスタート(Repeat Start):リピートスタートの可不可を選択できます。(デフォルトは不可)

アクセスキー(Access Key):ON/OFFを選択できます。(デフォルトはアクセスはOFF)

6.6 アラーム(Alarm)

アラームのON/OFFの選択。(デフォルトはOFF)

アラーム設定:

アラームタイプ(Alarm Type):単回(Single)/累積(Cumulative)

アラーム遅延(Alarm Delay):アラーム遅延開始時間(デフォルトは10分)

アラーム温度(Temperature):アラームが発生しない正常温度(H1(チャンネル1の上限度温度)、L1(チャンネル1の下限度温度、デフォルトはH1、L1のみON、2~8°C)

注意:H1とL1は同時に設定する必要があります。H2またはL2が設定されている場合、H1とL1は同時にオンにする必要があります。

6.7 PDFレポート(PDF Report)

日付表示(Data Format):MM/DD/YY、HH:MM:SSまたはDD/MM/YY HH:MM:SS(デフォルトはMM/DD/YY HH:MM:SS)

6.8 説明(Description)

ロガーの説明を設定できます(最大55文字、デフォルトは「Temperature Recorder」)

6.9 開始または停止(Start or stop)

スマホでロガーを開始、停止します。

6.10 マーキング

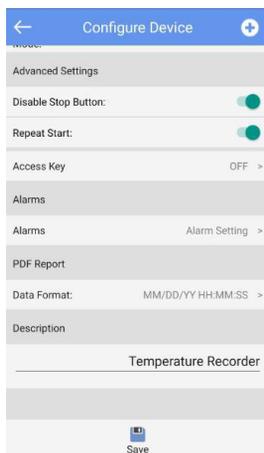
スマホでロガーの現在時刻と温度値をマークします。(最大6ポイント)

7. データファイル

メニューバーのデータファイル(Data Files) をクリックすると、データファイル(Data Files)画面が現れます。

デバイスインターフェイスの機能は以下の通りです。

Fig.23



7. データファイル

メニューバー(Fig.24)のデータファイル(Data Files)をクリックすると、データファイル(Data Files)画面(Fig.25)が現れます。データファイル画面の機能は以下の通りです。

Fig.24



Fig.25

ID	Timestamp	Checkbox
1	TZ2020061200 2020/06/21 17:11:33	<input type="checkbox"/>
2	TZ2020061200 2020/06/21 17:45:29	<input type="checkbox"/>
3	TZ2020061200 2020/06/21 20:15:10	<input type="checkbox"/>
4	TZ2020061200 2020/06/23 00:12:13	<input type="checkbox"/>
5	TZ2020061200 2020/06/23 00:13:27	<input type="checkbox"/>
6	TZ2020061200 2020/06/27 03:13:18	<input type="checkbox"/>
7	TZ2020202020 2020/06/27 05:37:26	<input type="checkbox"/>
8	TZ2020061200 2020/06/28 00:00:56	<input type="checkbox"/>
9	TZ2020061200 2020/06/28 00:58:57	<input type="checkbox"/>
10	TZ2006020008 2020/06/29 20:19:02	<input type="checkbox"/>

7.1 1つデータの詳細表示画面を表示

表示したいファイルの領域をクリックすると、詳細表示画面(Detail)(Fig.15~18)が表示されます。データファイル(Data Files)画面に表示される時刻は、データが初めて読み込まれた時刻です。情報は、機械が記録を停止するまで、読み取りごとに更新されます。

7.2 5ファイルまでのチャートレポート

比較したいデータファイルのチェックボックスにチェックを入れ、「比較(Comparison)」ボタンをクリックすると、チェックした複数のデータファイルの温度グラフが比較できます。

7.3 データファイルの削除

削除したいデータファイルのチェックボックスにチェックを入れ、「削除>Delete)」ボタンをクリックすると、チェックしたデータファイルが削除されます。

8. 設定(Setting)

メニューバー(Fig.26)の設定(Setting)をクリックすると、設定(Setting)画面(Fig.27)に入ります。設定画面の機能は以下のとおりです。

Fig.26

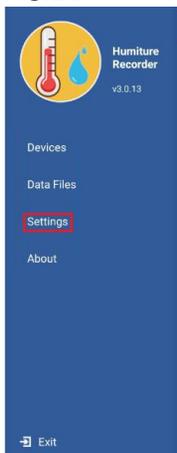
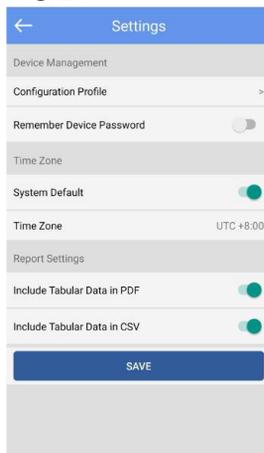


Fig.27



8.1 設定プロフィール(Configuration Profile)

6.デバイスの設定(Device Configure)で保存した、プロフィールを見ることができます。

8.2 デバイスのアクセスキーを覚えておく(Remember Device Password)

OFFの状態ではロガーを接続する度にアクセスキーを入力が必要です。ONの状態では、ロガーを接続時にアクセスキーを一度だけ入力すると、その後は入力の必要がありません。

8.3 タイムゾーン(Time Zone)

アプリとロガーのレポートのタイムゾーンが設定せきます(デフォルトはスマホのタイムゾーン)。

8.4 レポート設定(Report Setting)

PDFに表形式データを含める(Include Tabular Data in PDF): 包含/除外を選択(デフォルトは包含)。
CSVに表形式データを含める(Include Tabular Data in CSV): 包含/除外を選択(デフォルトは包含)。

9. 保存(SAVE)

SAVE ボタンをクリックして設定を保存します。